



## 2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社まぐまぐ 上場取引所 東  
 コード番号 4059 URL <https://www.mag2.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 熊重 晃  
 問合せ先責任者（役職名） 管理部門執行役員（氏名） 熊谷 翔太（TEL）03(5719)5703  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年9月期第1四半期の業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	110	△3.1	1	—	1	—	△3	—
2024年9月期第1四半期	114	△8.1	△0	—	△0	—	△0	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	△1.17	—
2024年9月期第1四半期	△0.34	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株あたり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	955	806	84.4
2024年9月期	964	809	83.9

（参考）自己資本 2025年9月期第1四半期 806百万円 2024年9月期 809百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	486	6.8	23	314.9	23	313.8	22	—	7.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期1Q	2,814,800株	2024年9月期	2,814,800株
2025年9月期1Q	49株	2024年9月期	49株
2025年9月期1Q	2,814,751株	2024年9月期1Q	2,814,751株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(四半期損益計算書関係)	6
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な物価の高騰や不安定な金融資本市場の動向により、依然として先行きが不透明な状態が続いております。

当社を取り巻く事業環境において、プラットフォーム事業が属する静止画・テキストコンテンツ市場につきましては、「デジタルコンテンツ白書2024」（一般社団法人デジタルコンテンツ協会）によると2023年度の市場規模は前年比98.5%の2兆8,628億円となりました。また、当社のメディア広告事業が属するインターネット広告市場につきましては、「2023年日本の広告費」（株式会社電通）によると2023年のインターネット広告費（インターネット広告媒体費のみ）は前年比108.3%の2兆6,870億円となり、前年に引き続き高い成長率で推移しております。

当第1四半期累計期間における当社の業績は、売上高は110,802千円（前年同期比3.1%減）、営業利益は1,122千円（前年同期は営業損失723千円）、経常利益は1,247千円（前年同期は経常損失723千円）、四半期純損失は3,283千円（前年同期は四半期純損失960千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラットフォーム事業

プラットフォーム事業においては、メルマガ配信プラットフォーム「まぐまぐ！」および記事販売プラットフォーム「mine」が属しております。

当セグメントの軸である有料メルマガサービスに関して、メディア広告事業と連携してクリエイターの獲得を促進しております。加えて、ユーザーインターフェースの改善に継続的に取り組んでいくことにより、プラットフォームの利便性の改善およびユーザビリティの向上に努めております。

その結果として、プラットフォーム事業の売上高は82,119千円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は43,013千円（前年同期比9.5%増）となりました。

#### ② メディア広告事業

メディア広告事業においては、Webメディアの運営および「Webメディアコンテンツ」・「メルマガコンテンツ」の広告枠販売サービスが属しております。

Webメディアにおいては、自社メディア「MAG2 NEWS（まぐまぐニュース）」「MONEY VOICE（マネーボイス）」「TRiP EDiTOR（トリップエディター）」「by them（バイゼム）」「PLAYLIFE（プレイライフ）」を含めたメディアの知名度およびユーザー満足度の向上を模索してまいりました。PVおよびUU数が堅調に推移しましたが、広告単価は引き続き低い水準となっております。また、Webメディアコンテンツ・メルマガコンテンツの広告枠販売においては、需要の高まりのある業種を中心に広告販売の強化を行っている一方で、企業の広告出稿の縮小および広告単価低下の影響を受けております。

その結果として、メディア広告事業の売上高は28,510千円（前年同期比31.2%減）、セグメント利益は10,321千円（前年同期比29.3%減）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業においては、イベント企画等が属しております。イベント企画はクリエイターの活動の支援と促進を目的としています。当社がクリエイターの活動を支援し、活性化のサポートをすることで、クリエイターの知名度と信頼性を向上させ、ブランディングに貢献しております。

その結果として、その他事業の売上高は172千円（前年同期は発生なし）、セグメント利益は50千円（前年同期は発生なし）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ9,748千円減少し、955,168千円となりました。これは主に、現金及び預金が9,646千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債につきましては、前事業年度末に比べ6,464千円減少し、148,688千円となりました。これは主に、その買掛金が2,344千円減少したこと並びに未払法人税等が1,882千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ3,283千円減少し、806,480千円となりました。これは、四半期純損失の計上により利益剰余金が3,283千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月13日の「2024年9月期 決算短信」で公表した通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	830,269	820,622
売掛金	97,047	90,915
前払費用	14,427	13,623
その他	1,625	355
流動資産合計	943,369	925,516
固定資産		
有形固定資産	—	4,021
無形固定資産	—	319
投資その他の資産	21,547	25,310
固定資産合計	21,547	29,652
資産合計	964,917	955,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,838	9,493
未払法人税等	4,022	2,139
預り金	100,856	99,500
その他	38,435	37,553
流動負債合計	155,153	148,688
負債合計	155,153	148,688
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	319,328	319,328
資本剰余金	514,087	514,087
利益剰余金	△23,617	△26,900
自己株式	△35	△35
株主資本合計	809,763	806,480
純資産合計	809,763	806,480
負債純資産合計	964,917	955,168

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	114,379	110,802
売上原価	51,184	42,802
売上総利益	63,194	67,999
販売費及び一般管理費	63,917	66,877
営業利益又は営業損失(△)	△723	1,122
営業外収益		
未払配当金除斥益	—	124
営業外収益合計	—	124
経常利益又は経常損失(△)	△723	1,247
特別損失(△)		
本社移転費用	—	※1 4,293
特別損失合計	—	4,293
税引前四半期純損失(△)	△723	△3,046
法人税等	237	237
四半期純損失(△)	△960	△3,283

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(四半期損益計算書関係)

※1 本社移転費用

本社移転に伴う原状回復費用等を本社移転費用として特別損失に計上しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	プラットフォーム	メディア広告	計		
売上高					
外部顧客への売上高	72,916	41,462	114,379	—	114,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	72,916	41,462	114,379	—	114,379
セグメント利益	39,286	14,588	53,875	—	53,875

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント企画等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	53,875
全社費用(注)	△54,598
四半期損益計算書の営業損失(△)	△723

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディア広告事業」において、株式会社バヅクリからの事業譲受により、のれんが増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期会計期間において、5,000千円であります。

当第1四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	プラットフォーム	メディア広告	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,119	28,510	110,629	172	110,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	82,119	28,510	110,629	172	110,802
セグメント利益	43,013	10,321	53,334	50	53,384

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント企画等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	53,334
「その他」の区分の利益	50
全社費用(注)	△52,262
四半期損益計算書の営業利益	1,122

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	— 千円	4 千円
のれん償却額	139 千円	— 千円